



# 柏市議会議員 吉田進 市政報告・活動報告



## ◎教育

### ●学校施設の障害者に合理的配慮を

現在エレベーター設置学校は富勢小学校、風早南部小学校、柏の葉小学校の3小学校。中学校は柏中学校、柏の葉中学校だけです。

車椅子を利用する児童・生徒がいる場合には、階段昇降機を貸出して対応されています。

しかし、車椅子利用の保護者が学校行事等の事業参観で、児童・生徒の成長等の様子を見ることが出来ない事例がありました。

障害者差別解消法の合理的配慮を示すまでもなく、障害者に優しく暮らしやすい環境をと教育する教育現場として、エレベーター設置は必要と考え、長寿命化工事と共に対応するように提案しました。学校施設個別整備計画において方針を決める。また学校行事等で来校の際は合理的配慮をするとのこと。ご連絡ください。



### ●中学生の制服は黒を基調としています

日没の早い冬季に黒は視認しがたく、車両運転者に発見を遅らせます。安全確保の現状認識と対策を要望しました。

### ●スクールソーシャルワーカー

いじめや不登校、虐待、貧困など、学校や日常生活における問題に直面する子どもを支援する。スクールソーシャルワーカーの必要性は増していますが、市内全域で現在6名体制です。これを中学校区に1名の配置を要望したところ、平成31年度までに全中学校区に配置する計画としました。

### ●幼稚園等の特別支援教育

「特別支援教育」とは、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

柏市の特別支援学級は小中合わせ143クラスあり、以前

の提言から特別支援教諭は各クラスに配置されるようになり、30年度の生徒数は759名です。

入学前の幼稚園や保育園には特別に配慮の必要な子どもも入園しています。保育園は公立がありますが、幼稚園はありません。幼児教育は私学(県の学事課担当)に依存し協力を仰いでいるわけです。現状の支援方法では様々な課題が生じて、早急な対策が必要との声を現場からお聞きしました。保護者と現場の声を聴くとともに文科省と厚労省のトライアングルプロジェクトを参考に考えてまいります。

関連し近年子ども発達センターへの利用は増加していることから、柏市の専門職の状況や近隣市を視察したところ専門職が足りなく、また応募も少ない現状があります。専門職を加配するように要望しました。

## ◎健康福祉

### ●ヘアードネ이션のご協力を

癌や白血病、先天性の無毛症、不慮の事故などにより髪の毛を失った方々に、30センチ以上を理想に寄付して頂いた髪の毛を使用して、オーダーメイドの人毛の医療用ウィッグを無償提供する活動があります。柏市内にも十数軒の協力店があります。がん対策の一環としてご協力をお願いします。

### ●保育園トイレの洋式化

保育園の大人用トイレは保母さんや保護者も使用し、妊婦さんもいます。以前の提言からトイレの洋式化の必要性は認識され改修工事も順次行われています。

### ●包括支援センター

柏市における地域包括支援センター職員の人件費は、各運営法人により異なり、差が生じます。低額な運営法人を離職し別の法人に転職するケースもあります。これにより、職員に欠員が生じたセンターは、円滑な運営ができなくなると考えます。いずれにしても、地域住民が安心して相談できる体制を担当課に要望しました。



## ◎情報公開

放射性物質を含む焼却灰は約1000トン保管されています。平成30年3月末をもって保管期限が切れています。その焼却灰はどの様に始末され、その報告説明は市民へどの様にされたのか。環境省から説明されたことを、後に報道で知らされた市民も多くあると思います。

情報公開されないことは、いたずらに不安を煽る事になりかねません。

昨年より本庁舎の耐震工事がされています。タイルの剥がれ等の改修する、追加工事の発生が昨年6月にあり7月から順次施行され、現在は足場も外されて工事は済みしました。この件を一年後の今年6月議会に提案されました。

やむを得ず工事内容を変更せざるを得ない場合もあるかもしれませんが、市民に対する説明責任や、行政情報を広く周知するという観点からも、例えば議会に対しては、追加工事の着手前に、委員会への報告や説明があってもいいのではないかと考えます。

手続きが増えると、工期が延びたり、結果的に工事費も増額に成り得るかもしれません。費用対効果を考慮することも十分に理解するところです。しかし、市税を使う公共工事については、同じくらい説明責任、情報公開という観点も重要だと考えます。市民に対する説明責任や、情報公開に力を入れ、情報を共有する社会を築くべきと考えます。

## ◎防災について

### ●事故火災消火活動

本市には大量の燃料を保管し自衛隊機の離着陸する下総基地があります。自衛隊機事故の報道もあるように事故は想定されます。防衛省に問い合わせたところ、航空機事故対応車両「救難消防車」を3台保有しており、過去5年間の基地内の訓練は、年10回から11回実施と報告されました。基地外の訓練実績は一度もありません。

基地内の事故に対しては基地内の消防体制で対処するものと思われませんが、航空機事故は基地外でもあります。その際、航空機災害対策計画での対応になりますが、「市及び関係機関は、相互の連絡体制の強化を図るため訓練の実施に努める。」とあります。

しかし、下総基地との連携体制に不安を覚え質問しました。

### ●柏市防災計画

柏市地域防災計画は本年2月に修正され実施すべき対策を示されました。

また、柏市災害被害想定再調査は近年各地の大規模災害から、12年前に想定されなかった被害発生を受け再調査されました。

柏市web版防災・ハザードマップは減災対策の取組として運用を開始しました。確実な避難行動が取れるように、スマホ対応で市内の防災施設や危険箇所を確認することができます。今後は前回の調査による総括をされ、課題解決の対策工程を示し、災害の未然防止に努め減災の手立てを、速やかに構築しなければなりません。

### ●大津川左岸6号雨水幹線

南増尾・逆井地区・逆井地区の270ヘクタールの浸水被害対策は永らく求められてきました。大津川左岸6号雨水幹線の事業変更を平成30年度中に行い、その後下流域から対策工事をする事になりました。

●長い間水路の管理がされず、大雨時には関係する畑等を長期間にわたり水没させていた。土砂を掘上げ対策をしました。本格的な暗渠工事でない為、大雨等では土砂で埋まる可能性があります。適宜対応して頂く事になりました。



## ◎下田の杜のお祭り体験

広場では竹馬や竹トンボを飛ばし、子どもも大人も楽しい時を過ごしています。

下田の杜は年間を通し様々な行事があります。市街地にある貴重な里山空間を次の世代に残したい、と地権者様や多くのボランティアの皆様が活動に取り組まれています。



藁草履づくりを小学生に手ほどき



小刀を使い竹とんぼづくり

